



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3451-5151

聖路加国際病院臨床研修部 青木 拓万

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 臨床研修部 青木 拓万

### **【指導医】**

聖路加国際病院 集中治療科 関 厚一郎

聖路加国際病院 集中治療科 岡本 洋史

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 Zoie S.Y. Wong

# 胃管を挿入した方を対象とした挿入時の体位に関する研究

## 1.研究の対象

2016年1月から2021年9月までに経鼻胃管（鼻を通じて胃中に通過される管）を挿入された患者のうち挿入時の体位の記載がある患者

## 2.研究の目的・方法

現在腸管を用いた栄養は重要とされており、胃管は日常診療で多用されています。さらに胃から先へ管を留置することで胃内貯留を回避し、嘔吐やそれに伴う合併症を減らすことができます。しかし、胃から先への管の挿入の精度は依然低く、今回胃管挿入時の体位と胃内での管の位置と向きを調査することで精度向上を図ることが目的です。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年2月28日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 挿入された胃管の種類、挿入後の胸部単純X線写真、血液検査データ、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病歴、心電図、CT画像 等

## 4.研究組織

聖路加国際病院